

日本パーソナリティ心理学会第105回常任理事会

日時：2012年4月28日(土) 16:00~18:15

場所：東洋大学 2号館第一会議室

出席者：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、小塩真司、中村真、二宮克美、藤田主一、松田英子、向田久美子、山崎晴美、渡邊芳之

事務局：加藤司(事務局長)、太幡直也(幹事)

報告事項

各種委員会報告

1 機関誌編集委員会(渡邊委員長)

(1)「パーソナリティ研究」の発行状況について

1)「パーソナリティ研究」第20巻3号

第20巻3号は2012年3月末までに会員に発送された。

2)「パーソナリティ研究」第21巻1号の発行状況について

第21巻1号は以下の11論文(依頼論文1, 原著5, 資料1, ショートレポート4)を掲載し, 入稿した。

(2)「パーソナリティ研究」の編集状況について

掲載番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
21-1-1	依頼論文	The Person-situation Debate and the Assessment of Situation	David C. Funder		2012/3/28
21-1-2	原著	機能的・非機能的自己注目と自己受容, 自己開示	高野慶輔	2010/10/4	2011/12/28
21-1-3	原著	中国文化の要素を考慮した社会的スキル・トレーニングのプログラムの開発および効果の検討	毛新華	2011/2/12	2012/1/9
21-1-4	原著	日本語版Ten Item Personality Inventory (TIPI-J)作成の試み	小塩真司	2011/1/21	2012/1/12
21-1-5	原著	ユーモア表出及びその動機と心理社会的健康	塚脇涼太	2011/6/26	2012/1/12
21-1-6	原著	大学生の認知行動的特徴と抑うつ症状の変化との関連性	高垣耕企	2010/3/23	2012/2/26
21-1-7	資料	日本版Zimbardo Time Perspective Inventory(ZTPI)の因子構造の検討	下島裕美	2011/2/28	2011/12/24
21-1-8	ショートレポート	日常の受容・拒絶経験と自尊心, 攻撃性との関連	岡田涼	2010/4/2	2011/12/24
21-1-9	ショートレポート	方略保有感, コスト, 有効性が認知的方略の使用に与える影響—方略固有的な次元からの検討—	梅本 貴豊	2011/8/12	2012/1/8
21-1-10	ショートレポート	抑うつの注意バイアスに対する刺激の自己概念関連性の影響	西口雄基	2011/8/1	2012/2/7
21-1-11	ショートレポート	二次元レジリエンス要因の安定性およびライフイベントとの関係	平野真理	2011/6/26	2012/3/24

1) 第21巻2号以降の編集状況

4月25日現在で採択となっている論文が7本ある。審査中の論文は40本(修正採択修

正中が4本)である。

## 2) 投稿状況について

昨年5月から4月25日までの投稿状況は以下の通りである。

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計	新システム	備考
2011	5	3	1	2	0	6		
	6	3	0	2	0	5		
	7	3	0	1	0	4		
	8	2	1	4	0	7		
	9	8	0	2	0	10		
	10	1	0	2	0	3		
	11	3	0	1	0	4	4	
	12	3	1	0	0	4	4	
2012	1	0	1	0	0	1	1	
	2	4	0	0	0	4	4	
	3	2	1	4	0	7	7	
	4	4	1	4	0	9	9	4月25日
合計		36	6	22	0	64	29	

新規投稿はすべて新システムに移行した。

### (3) その他

#### 1) 掲載論文の転載許可について

「Progress & Application 心理学研究法」(村井潤一郎編)(株)サイエンス社  
第9巻の村井潤一郎「青年の日常生活における欺瞞」承認された。

#### 2) 審査体制の見直しについて

以下のような、審査の遅れに伴うトラブルへの対処が提案された。

審査が依頼後3ヶ月をすぎても完了しない場合は速やかに査読者の交替を行なう。

審査結果が揃って1ヶ月を過ぎても審査提案を行なわない場合は、担当編集委員の交替を担当編集者が行なう。

審査の遅れによって査読者、担当編集委員を交替することが複数論文におよぶ編集委員がいる場合には、任期途中でも交替を検討する。

#### 3) 常任編集委員の追加・編集委員の追加について

特例として編集委員高坂康雅(和光大学)、越中康治(宮城教育大学)、編集委員からの伊藤君男(東海学園大学)、岡田涼(香川大学)を常任編集委員とした。

任期については2013年大会までとする。

## 2 経常的研究交流委員会(二宮委員長)

### (1) 企画

#### 1) 子育て支援における心理学者の役割 - 実践と研究の狭間で -

講演者: 青木紀久代先生(お茶の水女子大学)

日時: 2012年3月29日(木) 14時~16時半

場所：早稲田大学文学部 32 号館 321-1 室

## 2) 委員会企画シンポジウム

応用を目指す心理学者からのメッセージ - 社交不安の立場から -

成人期研究とパーソナリティ研究を考える - 成人期の役割期待に焦点をあてて -

### (2) 第 21 回大会以降の委員

新規委員の候補者：永井智(立正大学)、畑野快(京都大学大学院)、原田知佳(名城大学)

松下健(早稲田大学大学院)

任期：21 回大会から 24 回大会まで

承認された。

## 3 広報委員会(小塩委員長)

### (1) YPP2012

実行委員長：氏家悠太(千葉大学)

### (2) 大会企画

「ナラティブとパーソナリティ：日本神話をめぐって(仮)」を企画中。

## 4 国際交流委員会(向田委員長)

### (1) 英文原稿

Funder 先生より 3 月 25 日に原稿を受理した。

“The Person-situation Debate and the Assessment of Situations”

(David C. Funder and Esther Guillaume, Sakiko Kumagai, Shizuka Kawamoto and Tatsuya Sato)

### (2) 大会企画

#### 1) 招待講演

講演者：ヒューベルト・ハーマンズ(ナイメーヘン・ラートボウト大学心理学部 名誉教授)

講演題目：The dialogical self: Positioning and counter-positioning in a globalizing world

#### 2) 特別ワークショップ

講師：アグニエスカ・ハーマンズ-コノプカ(国際対話的自己研究所プログラムディレクター)

講演題目：Composition Work with Dialogical Self as an “artistic road” in practice

## 5 学会活性化委員会(藤田委員長)

### (1) 優秀大会発表賞について

実施・選考の方法は従来に準じて行う。

### (2) 委員会企画について

鳥根大会のときに、委員会企画として「パーソナリティ心理学の未来を探して」と題するシンポジウムを実施する。

#### 6 各種電子化検討小委員会（中村委員長）

特に報告なし。

#### 7 選挙管理委員会（堀毛委員長）

選挙日程について説明がなされた。

本日における国際文献のデータベースをもって選挙台帳とすることが承認された。

#### 日本心理学諸学会連合

##### 1 日本心理学諸学会連合について（浮谷理事長）

次回の日心連会議について説明がなされた。また、藤田常任理事より、3月27日に行われた（仮称）「心理師」国家資格に関する院内集会について報告がなされた。

##### 2 心理学検定について（松田委員）

3月に問題作成の打ち合わせをし、問題を提出した。

#### 第21回大会準備状況について（代理：浮谷理事長）

##### 1 申し込み状況

ポスター：130件、シンポジウム：11件

##### 2 参加費の納入を5月31日まで延長した。

#### 事務局報告（加藤事務局長）

##### 1 ドメインの移管について

ドメインとサーバー管理を国際文献に移管することが承認された。

#### 20周年記念事業について（浮谷理事長）

##### 1 「パーソナリティ心理学ハンドブック」について（二宮担当常任理事）

進捗状況と今後のスケジュールについて説明がなされた。

遅くても、鳥根大会に間に合わせたい。

## 2 学会 20 年史（浮谷理事長）

理事長より、基本方針について説明がなされた。佐藤達哉（立命館大学）を中心にまとめることが報告された。「学会 20 年史」の発刊が承認された。

## その他

なし。

## 審議事項

### 2011 年度決算・2012 年度予算に関する件（山崎財務担当常任理事）

\* 2011 年度決算案が一部修正のうえ承認された。

\* 2012 年度予算案が提出され、次回にさらに検討することになった。

### 第 104 回常任理事会議事録承認に関する件（加藤事務局長）

\* 承認された。

### 新入会員に関する件（加藤事務局長）

#### 1 ML で承認済みおよび新規

院生会員 16 名、一般会員 5 名が承認された。

#### 2 退会希望者

9 名の退会が承認された。

#### 3 会勢報告

以上、新入会希望者、退会希望者の承認を受けて、4 月 25 日現在、会員総数は 882 名である（賛助会員 1 名、名誉会員 7 名、一般会員 593 名、院生会員 274 名、学生会員 7 名）。

### 退会処分に関する件（加藤事務局長）

2 年間会費未納の 28 名の退会処分者が提案され、次回常任理事会にて検討することになった。

### 名誉会員推挙に関する件（加藤事務局長）

常任理事会として繁多進先生を推薦されることが承認された。

その他

なし。

次回常任理事会は8月25日(土)15:00から東洋大学